

2023年3月

地域密着型デイサービス 運営推進会議

<デイサービス ふらみんご>

① 稼動状況

- ・平均利用者数 13～15名（入院や体調不良、都合などにより月によって変動あり）
- ・総利用者数 42名（うち要介護35名）
要介護1：16名 要介護2：11名 要介護3：5名 要介護4：1名 要介護5：1名
要支援1：2名 要支援2：3名 事業対象者：2名
- ・1か月延べ利用回数 354回
- ・営業日は月～土曜日（12月31日～1月3日を除く）
- ・半日利用10名
理由：1日利用できる体力がない、自宅で用事がある、朝の支度が間に合わない、
金銭面

② 活動内容（ふらみんごの特徴）

- ・自立度の高いデイサービスです。健康管理や集団体操、個々に合わせた機能訓練や職員と利用者様、利用者間での交流を通して、暖かな時間と居場所を提供しています。
- ・健康管理を行います。デイサービスご利用時の様子観察から、変化や問題を早期に発見し、多職種で情報共有してご家族様やケアマネージャーと連携を取り合いながら異常の早期対応に努めています。
- ・コロナ禍で地域の方々との交流の機会は多く設けられませんでした。事業所内で手作業やレク、運動に加えて利用者様のやりがいや生活に繋がる事、自分も誰かの役に立っていると感じていただけることを見つけだす取り組みを行っています。

③ 活動報告

- ・外出イベント…（春）斐川公園、稲佐の浜
（夏）風車公園
（秋）一畑薬師、出雲空港
- ・個別機能訓練…自宅でも行えるように畳の間を利用して個別もしくは小集団での運動を行っています。
- ・自立支援…洗濯物を畳んだり干したり、ADLに合わせた掃除の動作指導などを行いました。台所に立ち、調理作業を行ったり、目の見えない利用者様にもお

米を研ぐ動作を行っていただき、自宅でも役割として行っていただけるようになりました。

- ・感染対策を行いながら、季節に合わせた七夕飾りや壁紙作品作り、スイカ割り、紅葉のしおりづくり、クリスマスイベントも行いました。

④ 質の向上

今年度の職場目標テーマは「地域で選ばれる、夢中になれるふらみんご」です。

利用者様の昼食の時間帯に毎日カンファレンスを行い、業務の統一化や利用者様へのケアの迅速な検討に力を入れてきました。下半期も積極的に利用者様とコミュニケーションをとり、日常の会話から困りごとやニーズを拾い上げて、カンファレンスで共有しチームで利用者様の願いを叶えるために取り組もうと思っています。

また、コロナ禍ではありますが、感染対策を行いながら、お出かけやイベントを行うことも出来ました。「ここへ来るといろんなことを教えてもらえる。体操もレクリエーションも食事もどれもが最高です。デイサービスを楽しみに毎日を過ごしています。」とうれしいお言葉もいただきました。

今後も、チームで支え、チームで育ち、より良いサービスと笑顔あふれる場所を提供出来るよう心掛けていきます。

⑤ 苦情・要望について

特にありませんでした。

⑥ インシデント・アクシデント

- ・送迎落ち（提供票に予定が立っておらず、本人からの電話で発覚）

対策：利用予定日に提供票に予定が立っていない場合には事前にケアマネやご家族様へ連絡を取り理由を明確にした上で利用の有無を職場内で共有する。

- ・トイレ内で便座に座り損ねた

対策：移動時は必ず付き添いを行いトイレ利用時には便座に座られるまでしっかりと確認する。ケアプランに組み込む。

- ・配薬落ち

対策：来所後にその日のリーダーと職員でダブルチェックを行い薬包に記入してある利用者様の名前と薬の内容を確認し、服薬管理表へチェックを入れる。服薬介助の際には職員二人で利用者様の内服を確認し、一人は服薬介助（口に入るまで確認）、一人は服薬確認表にチェックを入れる。

- ・ファイルの入れ間違い

対策：大前提に、利用者様の大切な個人情報であることを自覚する。あわせて連絡票をファイルに綴る、鞆に入れる作業を職員二人でチェックを行う。